

学校だより

たまがわ

厚木市立玉川小学校
校長 高澤 崇

児童数 161人
(124家庭)

平成30年 6月19日

「教師には大切な地元が二つある」

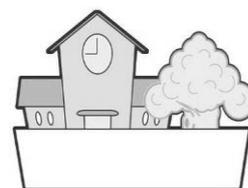
校長 高澤 崇

このタイトルは、10年以上も前に当時の神奈川県教育委員会の課長が話した言葉です。「その通りだ」と私は深くうなずいたことを覚えています。また、今でもそう感じます。



二つの地元とは、まず、自分の住んでいる地域です。私は厚木市内の依知地区に住んでいるので、依知が地元です。(ちなみに、私は依知南小と依知中を卒業しました。校歌は今でも一番なら歌えます。)

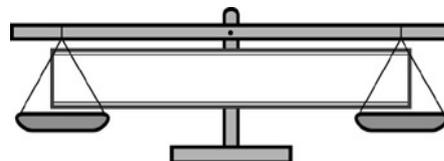
もう一つの地元とは、勤務校のある地域のことです。玉川小に勤めている私にとっては、玉川地区が私の第二の地元になります。依知と玉川、どちらも私にとっては大切な地元です。



玉小では、この6月に5・6年生が田植えを行い、1・2年生は麦刈りに汗を流しました。また、3年生の大豆の種まきと4年生のサツマイモ苗の植え付けを予定しています。どの活動にも多くの地域のみなさん、保護者の方々のご協力がありました。そのおかげで、大きな事故もなく、子どもたちは笑顔で活動に取り組んでいました。ありがとうございました。また、この夏には、5・6年生が運動会で上演した玉小ソーランを、小野や七沢等の納涼祭などで発表する機会が毎年あります。児童は希望参加ですが、昨年同様、元気に発表することを期待しています。

しかし、昨年は課題にぶつかったこともありました。私にも家庭があり、さらに、この第二の地元である玉川の行事と第一の地元である依知の行事が重なってしまうことも少なくないのです。そのたびにどうしようかと考えました。そのときに感じたのは「無理をしない」ことの大切さです。無理をせず、うまく調整して、家庭と玉川への参加、依知の参加がバランスよくできるようにしました。

一年が過ぎ、地元が二つあることの楽しさを今、味わっています。さまざまな人々と知り合いになり、いろいろなことを一緒に進めることができました。それは第一の地元と第二の地元、どちらも大切にしたいのおかげです。私にとって、玉川も依知も宝物です。



本年6月から玉川小学校はコミュニティ・スクールとなりました。月末には第1回学校運営協議会を開催し、今年重点「学びを深める」と「地域で育てる」について協議します。このコミュニティ・スクールの目的である「地域における学校の応援団づくり」はすでに玉川地区では進んでいます。これからは得意に帆を揚げて、この玉川地区の良さをさらに推し進めます。

ただ、そのときに、私をはじめとする玉小の先生たちも仕事、家庭、そして二つの地元、合計四つのバランスに悩むことがあるかもしれません。同様に、各家庭や地域のみなさんも仕事、家庭、地域の三つの調整が大変なことも起きてくるでしょう。

どれも大切なものばかりです。無理をせず、地域と学校や家庭が連携して子どもたちを育てていく、それがコミュニティ・スクールとしての玉川小です。保護者のみなさま、地域のみなさま、どうかよろしくお願ひします。

6.7月の予定 (変更になることもあります。ご了承ください。)

[6月]

- 20日(水) 授業参観・教育講演会・懇談会
給食試食会 PTA運営常任委員会
- 21日(木) お話会(高) クラブ活動
3年あつぎICT元気塾A
- 22日(金) 先生によるお話会 かわせみタイム
- 25日(月) 英語集会 PTA本部会
第1回学校運営協議会
- 26日(火) お話会(低) GUA チャレンジルーム(低)
- 27日(水) 音楽朝会2年、4年 ALT
- 28日(木) お話会(高) 3年あつぎICT元気塾B
- 29日(金) チャレンジルーム(高) 小麦脱穀(予定)
GUA みんなの教室ブロック交流会



[7月]

- 2日(月) メール配信テスト GUA
- 3日(火) お話会(高) チャレンジルーム(低)
- 4日(水) 朝会 ALT
- 5日(木) お話会(低) 3年あつぎICT元気塾A
- 6日(金) チャレンジルーム(高) GUA
委員会活動
- 10日(火) 交通安全教室 お話会(低) GUA
代表委員会 チャレンジルーム(低)
- 11日(水) 児童朝会 ALT 清掃週間(~18日)
非行防止教室(4~6年) 3校時
- 12日(木) お話会(高) 3年あつぎICT元気塾B
- 13日(金) 4年校外学習 チャレンジルーム(高)
- 17日(火) お話会(低) 5・6年着衣泳 GUA
- 18日(水) 給食終了 食育の日
やませみタイム 下校15:00
- 19日(木) 短縮4校時 下校12:10
- 20日(金) 終業式 短縮3校時 下校12:00

今年度の玉川小学校重点目標の紹介③

ひびきあう心～仲間を大切に、活動に積極的に取り組む児童の育成～

○居心地の良いクラスづくり

どの子も居心地の良いクラスにするため、各クラスで取り組みを行っています。学活や体育などで友達同士が遊びを通じて関わり合える活動を行ったり、また、帰りの会で今日活躍した子を認め合う活動を行ったりしています。6月は、児童理解月間です。学期ごとに実施するいじめアンケートをもとにして、担任と個別の面談を行っています。困っていること、気になることなどに教員がアンテナを高くし、個々の児童を理解し、支援できるように取り組んでいます。クラスの担任だけでなく、養護教諭、児童指導担当、教科担当、スクールカウンセラー、元気アップアシスタントなど、複数の目で児童を見て、個々に応じた支援を充実させ、誰もが居心地のよいクラス、居心地のよい学校にしていきたいと思ひます。

○主体性を育む児童会活動の充実

6月4日～8日は、児童会によるあいさつ運動が行われました。どうすれば「あいさつがこだまする」学校にできるか、運営委員会の児童が中心となり、各クラスごとにあいさつ運動に取り組みました。朝の時間に各教室を回って、あいさつをする児童の声は響き、とても気持ちよく感じました。地域の人とあいさつをすることや学校の中でクラスの子だけでなく、他の学年の子ともあいさつをすることをめあてとして表を作って取り組みました。今後も児童が主体的に動ける活動を推進していきたいと思ひます。



あいさつ運動を振り返る児童の様子